

## WS03の流れ



②2021年7月12日にWS03が開催されました。前半に4つの設計案を紹介し、後半ではそれぞれの提案に対する住民とのグループディスカッションを行いました。



②北海道大学小澤丈夫教授と東京工業大学安田幸一教授から当日の流れと趣旨について説明しました。



③ディスカッションを始める前に、4つの設計案を住民の皆さんに把握していただくため、各案の模型と図面を用いて発表しました。



④案ごとにテーブルを作り、案に対する質問ならびにグループディスカッションを行いました。



⑤案ごとにグループをつくったこともあり、垣根を超えた話し合いがありました。

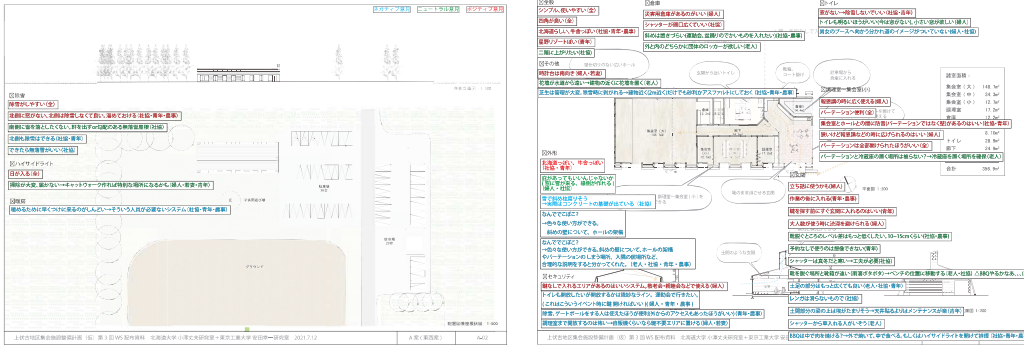


⑥最後に全体総括を行いました。終了後も熱心に、案に対する議論があり、関心の高さを実感しました。

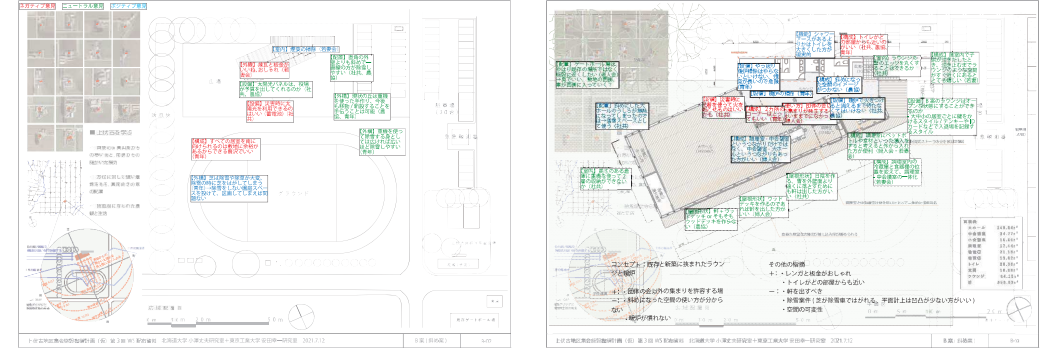
## WS03のまとめ

WS 後、次に向けて配置図、平面図を用いながら住民の皆さんから出た意見を場所と対応させながら整理しました。その結果、どの提案もポジティブな意見を頂戴しました。また、大集会室に対する具体的な使い方への意見が様々ありました。これらを踏まえて、4案の良さを包括するような平面と、柔軟な利用が可能な大集会室を設計することを基本軸にすることと結論づけました

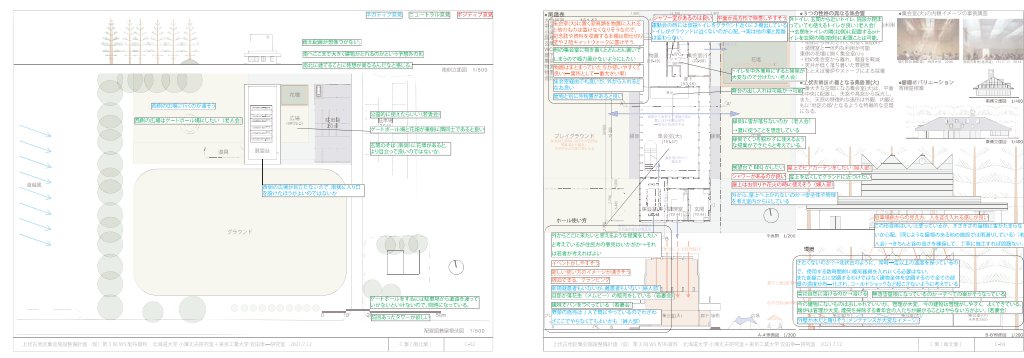
### 東西にのびたプラン



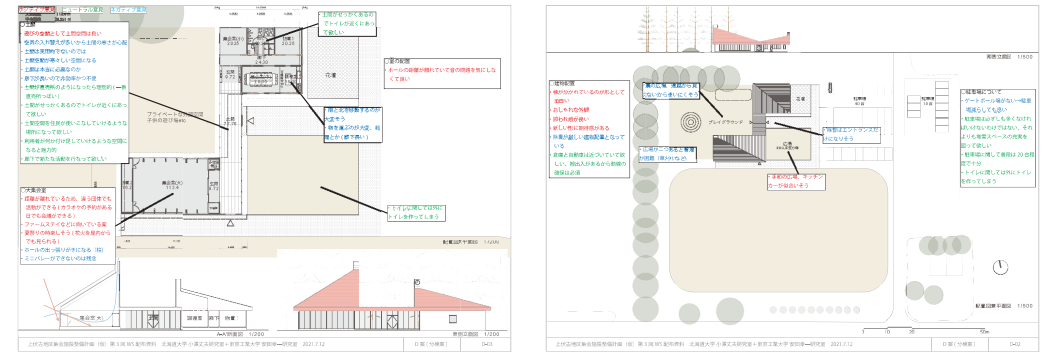
### 斜めに傾けたプラン



### 南北にのびたプラン



### Z型のプラン





## WS04の概要

### ■芽室WS04概要

目的：「コンセプト案に対する住民意見の把握

日時：10月05日（月）

①13:30-15:00 婦人部、若妻会

②15:30-17:00 青年部、農事組合

③19:00-21:00 意見交換会（各団体代表者のみ）

参加者：地区住民50名（意見交換会20名）

北海道大学：小澤、内藤

東京工業大学：安田、平

芽室町役場：斎藤

内容：設計案の最終報告と意見交換

### ■タイムテーブル

○はじめに（10分）

- ・趣旨説明

○設計案の説明（20分）

- ・配置・平面計画（平）
- ・立面・断面計画，パッシブ換気（内藤）

○自由観覧、質疑応答（60分）



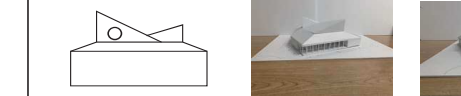
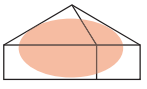
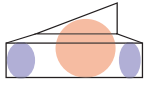
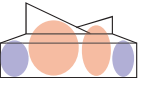
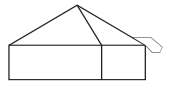
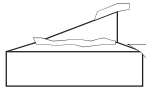
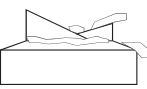


南面からみた風景



建物内部の様子

WS04に向けての調査/屋根案の比較検討

屋根比較表	方形屋根案	方形屋根案 (ドーナツ+ホール)	二山案
コンセプト	みんなのリビングホール		
図			
屋根 コンセプト	・大集会室を一つの空間として捉えている		・23.8° 傾けたことによる大集会室の空間の分節を活かしている
	外 ・大きな一山を表現する	・大きな一山を表現しながらも分節によって山の稜線を表現。 (方形屋根案に比べると、屋根の主張は小さい)	・複数の頂部によって、山並みを表現できる。
内	・談話コーナーと大集会室を一つの空間として統合 	・談話コーナーと大集会室を緩やかに分節 	・談話コーナーと大集会室を緩やかに分節 ・大集会室を二つに緩やかに分節 
採光	・トップライトは可能だが、水漏れ、板金処理などが必要。	・分節させることで頂部の形態が自由となり屋根面にハイサイドを設けることができる。	・分節させることで頂部の形態が自由となりハイサイドが設けられる。 ・東と西にハイサイドライトを設け太陽の動きと共に光の入る方向も変化
積雪	・風下側に雪庇ができる 	・風下側に雪庇ができる ・ドーナツとホール部の境界で雪がたまる 	・ドーナツとホール部の境界で雪がたまる ・風下側に雪庇がたまる ・二山の谷部に雪がたまる 
板金の処理	・ハゼの向きがそろい、処理は容易 ・トップライトの処理が必要	・ドーナツとホール部の境界の処理が難しい	・ドーナツとホール部の境界の処理が難しい ・ハゼの向きがばらばらになる
換気	・機械換気を前提とした計画	・パッシブ換気を前提とした計画	・パッシブ換気を考慮したハイサイドの開口
メンテナンス	・ハイサイドを設ける場合手が届く範囲にするのが難しい。 ・キャットウォークを含め要検討	・キャットウォークで登れる。	・キャットウォークで登れる。
構造	・大スパンになる (張弦張を使う) が部材量と接合部は少ない	・スパンを短くできるが、部材量や接合部は増える。(張弦梁は可)	・分節が多いためスパンを短くできるが、より部材量と接合部が増える。
その他	・垂直屋根がないので時計を設置できない	・垂直屋根があるので時計を設置できる	・垂直屋根があるので時計を設置できる

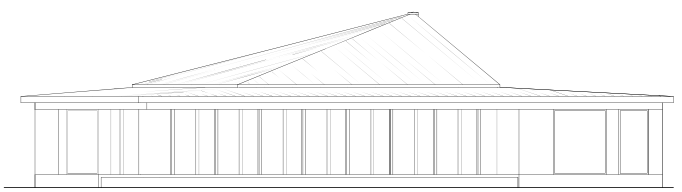
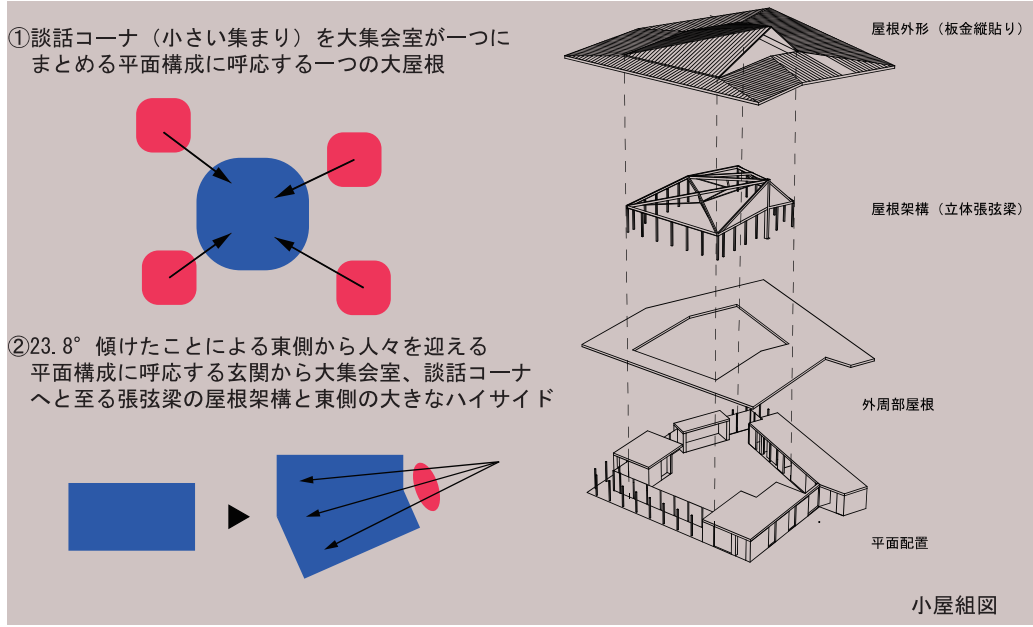
代表者会議で承認された平面を基本軸に屋根案を検討しました。

その結果、大きな一山を表現する「一山案」、ドーナツ型の廊下と真ん中の大集会室という平面形に従った「一山案(ドーナツ+ホール)」、山並みを表現した「二山案」の三種類が抽出されました。

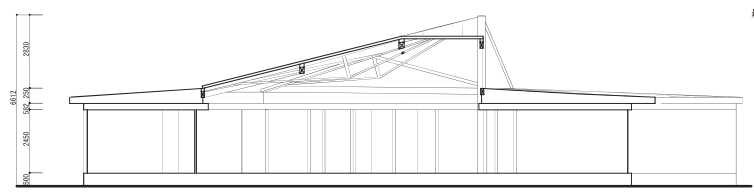
構造・設備の専門家とも協議のうえ最終的に、二山案を最終的な屋根案としました。



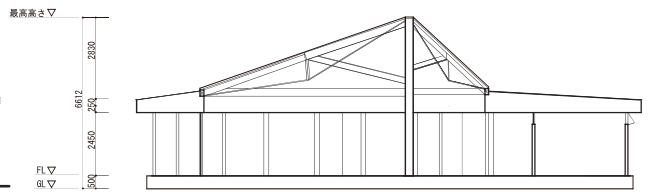
## WS04に向けてのリサーチ/屋根が一山の検討



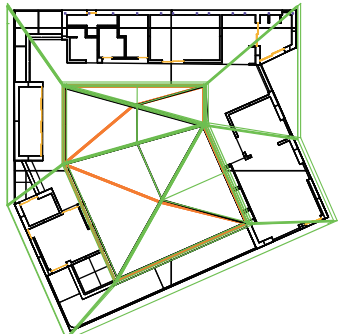
南面立面図 (1:200)



東西軸断面図 (1:200)



南北軸断面図 (1:200)



屋根架構図

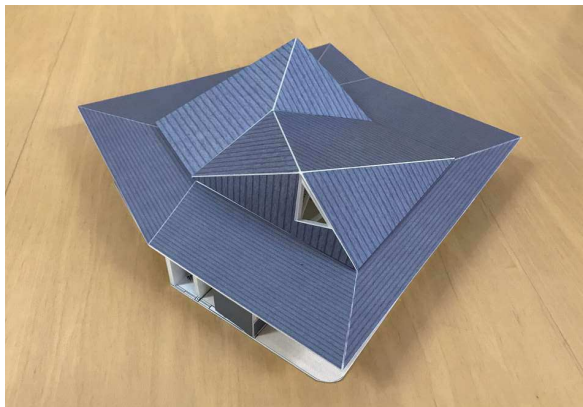


東面立面図 (1:200)

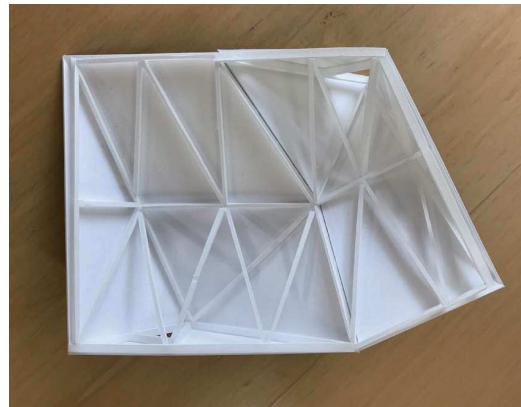
WS04に向けてのリサーチ/屋根が二山の検討



リビングホール内観



模型鳥瞰



中央部屋根架構



南からみた外観



南東からみた外観



東からみた外観



西からみた外観



WS04の提出物について/住民説明会配布資料

上伏古地区集会所施設整備計画(仮)  
2021年10月05日住民説明会  
配布資料

目次  
01…コンセプト  
02…配置図  
03…平面図/内観パース  
04…立面図/断面図  
05…バッシュ熟気について

北海道大学小澤丈夫研究室+東京工業大学安田幸一研究室

---

■ 7月WSの各案の良さ

A案: ・ 中央の広き空間 ・ 多様な動線計画	B案: ・ 貫通式の通路の配置 ・ 視界に開いた休憩コーナー	C案: ・ 中央に配置する大集合室 ・ 数々の平歩を配した景観の配慮	D案: ・ 山並みに合わせた水鏡 ・ 多角的な内観空間のつながり
-------------------------------	--------------------------------------	--	--

各案の良さを統合  
みんなのリビング

---

■ 「みんなのリビング」の4つの特徴

- 中央にある「リビングホール」  
この集会所施設を地域の「みんなの家」として捉え、リビングホール(大集合室)をその中心の空間として配置することで、より多様な利用や活動の場を提供します。
- さまざまな休憩コーナー  
中小集合室などの休憩室をリビングホールを囲むように配置し、休憩の場には多方向に開いた4つの休憩コーナーを設けます。空間での視線のための特設いす、山並みが見られるテラス、外に面するカウンター、季節のイベントスペースなど、さまざまな利用を想定した集会所がみんなのコミュニケーションを促進します。
- 卓越風を配した特徴的な屋根  
リビングホールの屋根は、日蓮山脈の山並みを想起させる形状とし、十勝の強風と認知し、上伏古の新しいシンボルとなります。屋根形状は、リビングホールの空間に高さを感じ、一体感と変化を与えます。また、高さの差による風通しの確保も考慮した形は、それぞれの季節で快適な通気環境を効果的に実現します。
- 景観と調和した屋外活動空間  
既存の運動場に加え、芝生広場とデッキ、遊び広場、ゲートボール場、花壇など、各季節のニーズに応じた屋外活動を充実させます。緩やかな地形の起伏に沿って安全な活動の場をつくりながら、周辺の景観と調和を図ります。既存の門や記念碑を継承しながら、開かれた集会所を創ります。

上伏古地区集会所施設整備計画(仮) 配布資料 北海道大学小澤丈夫研究室+東京工業大学安田幸一研究室 2021.10.05

上伏古地区集会所施設整備計画(仮) 配布資料 北海道大学小澤丈夫研究室+東京工業大学安田幸一研究室 2021.10.05



